

## 令和8年度(2026年度) てがたん予定表

毎月第二土曜日 10:00~12:00 (雨天中止)

参加費：大人300円・中学生以下100円

観察場所：鳥の博物館周辺

年	日付	テーマ	
2026	4月11日	春の竹を観察しよう	私たちの身近な植物である竹について、たけのこに注目しながら観察します。室内で竹の工作も行います。
	5月9日	野草でお花見	美しい桜の花の季節も過ぎ、ちょっと目を下に転じて、道端に咲く野草のお花見をしませんか？花の形はどうなのか、名前は何なのか、見過ごされがちな小さな花たちをじっくり観察してみましょう。
	6月13日	生き物の生存戦略	身近でみられる生き物たちの生存競争の中で、互いに利用しあっている生き物を探していきます。
	7月11日	葉っぱのハ・テ・ナ	身近にある木の葉、草の葉、形も様々。ギザギザはあるのか、虫食いの跡はあるのか、そもそも葉っぱって何のためにあるのか？葉っぱで植物の名前がわかるのか？葉っぱに関するあれこれを探ってみましょう。
	8月8日	土の中の古代アート	普段何げなく生活している地面の下には、微小化石が含まれていることがあります。花粉や有孔虫がもつ幾何学的な形の美しさを、電子顕微鏡を通して観察してみましょう。
	9月12日	てがたんオノマトペ	オノマトペとは擬態語、擬音語のことを言います。ふわふわ、さらさら、カサカサ、キラキラ…。自然の中で、たくさんのおノマトペを楽しみながら体感してみましょう！
	10月10日	「毒」と「薬」は使いよう	“身近な生き物にも毒を作るものがありますが、その「毒」の中には「薬」として人々の暮らしに役立つものもあります。今回は身近な自然の中の毒と薬について調べてみます。”
	11月7・8日	てがたん in JBF	ジャパンバードフェスティバルを通して我孫子に訪れる方向けに、博物館の観察会を担当するスタッフの目線から、我孫子の豊かな自然環境や生き物を紹介します。
	11月14日	くらべてみよう鳥の体・翼編	鳥は種類によって翼の形が異なり、飛び方や羽ばたき方も様々です。素早く飛ぶ翼、ゆっくり飛ぶ翼、どのような違いがあるのか比べてみましょう。
	12月12日	もっと知りたいエナガ	関東で見られるエナガは通常濃い眉斑のある鳥ですが、我孫子含め千葉の辺りでは眉斑の薄いエナガが見つかっています。身近なエナガの謎に迫ってみましょう。
2027	1月9日	冬を生きぬく	木々が落葉し、植物の生産活動が少なくなる時期に、生き物はたちどのように命をつないでいるのでしょうか。活動を続けているものや、エネルギーの消費を抑えて春を待つものなど、さまざまな生き方を紹介します。
	2月13日	楚人冠が書いた鳥たち	東京朝日新聞社のジャーナリストとして活躍した杉村楚人冠が、自然豊かな我孫子に移住して出会った数多くの鳥たちについて、楚人冠の文章を交えてご紹介します。
	3月13日	行く鳥来る鳥	3月になると冬鳥は北へ帰り始める一方、南から夏鳥が来ます。手賀沼にいる渡り鳥が行ってからまた来て過ごす一年間に思いを馳せましょう。

\*開催時間や申込方法を変更することがあります。